



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年7月29日

上場会社名 旭精機工業株式会社 上場取引所 名
 コード番号 6111 URL <https://www.asahiseiki-mfg.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 神谷 真二
 問合せ先責任者 (役職名) 管理統括部副長 (氏名) 青木 潤 TEL 0561-52-5356
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の業績 (2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	2,822	37.8	134	—	152	—	100	—
2021年3月期第1四半期	2,048	△31.1	△204	—	△182	—	△129	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	41.63	—
2021年3月期第1四半期	△53.79	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	18,997	12,867	67.7
2021年3月期	20,599	12,899	62.6

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 12,867百万円 2021年3月期 12,899百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	—	—	70.00	70.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期 (予想)	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	5,800	31.9	110	—	140	—	90	—	37.35
通期	13,300	13.1	400	—	440	—	290	△29.1	120.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	3,088,739株	2021年3月期	3,088,739株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	679,395株	2021年3月期	679,255株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	2,409,429株	2021年3月期1Q	2,409,917株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計方針の変更)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、引き続き経済活動が制約される中、依然として先行き不透明な状況となっております。

このような状況のもと当社におきましては、新たな経営体制のもと、精密金属加工品及びプレス機械を中心に回復してきた顧客の需要に的確に対応するとともに、生産性の一層の向上に注力して業績の回復を図ってまいりました結果、売上高は28億2千2百万円と前年同期比37.8%の増加、営業利益は1億3千4百万円（前年同期は2億4百万円の営業損失）、経常利益は1億5千2百万円（前年同期は1億8千2百万円の経常損失）、四半期純利益は1億円（前年同期は1億2千9百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績につきましては、精密加工事業部における売上高は16億1千万円と前年同期比34.6%の増加となり、機械事業部における売上高は12億1千1百万円と前年同期比42.2%の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は、前期末より16億2百万円減少し、189億9千7百万円となりました。これは主に、現金及び預金が17億6千2百万円減少したことによるものです。負債につきましては、15億7千万円減少し、61億3千万円となりました。これは主に、短期借入金12億3千万円減少したことによるものです。純資産につきましては、3千2百万円減少し、128億6千7百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が3千6百万円増加したものの、利益剰余金が6千8百万円減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2021年4月28日の「2021年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

なお、今後、新型コロナウイルス感染症の拡大等により業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,976,589	5,213,663
受取手形及び売掛金	2,046,509	1,659,793
電子記録債権	810,006	903,041
製品	178,670	495,200
仕掛品	2,473,305	2,605,323
原材料及び貯蔵品	564,840	599,852
その他	95,118	100,882
貸倒引当金	△3,800	△3,200
流動資産合計	13,141,240	11,574,558
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,960,299	1,941,128
機械及び装置(純額)	1,673,312	1,740,866
その他(純額)	1,418,823	1,290,981
有形固定資産合計	5,052,435	4,972,976
無形固定資産	91,213	88,013
投資その他の資産		
投資有価証券	2,109,814	2,162,492
その他	204,657	199,150
投資その他の資産合計	2,314,471	2,361,642
固定資産合計	7,458,120	7,422,631
資産合計	20,599,360	18,997,189

(単位:千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	926,926	927,824
電子記録債務	1,604,671	1,734,156
短期借入金	2,930,000	1,700,000
未払法人税等	247,240	67,291
賞与引当金	266,708	53,050
役員業績報酬引当金	27,172	-
その他	743,937	717,018
流動負債合計	6,746,656	5,199,341
固定負債		
退職給付引当金	868,917	848,739
その他	84,767	82,093
固定負債合計	953,685	930,833
負債合計	7,700,341	6,130,174
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,175,416	4,175,416
資本剰余金	3,468,202	3,468,202
利益剰余金	5,702,358	5,634,005
自己株式	△1,432,460	△1,432,734
株主資本合計	11,913,517	11,844,890
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	985,659	1,022,124
繰延ヘッジ損益	△158	-
評価・換算差額等合計	985,500	1,022,124
純資産合計	12,899,018	12,867,015
負債純資産合計	20,599,360	18,997,189

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	2,048,371	2,822,278
売上原価	1,881,901	2,260,659
売上総利益	166,470	561,619
販売費及び一般管理費	370,821	427,545
営業利益又は営業損失(△)	△204,350	134,073
営業外収益		
受取利息	249	249
受取配当金	19,626	16,778
固定資産賃貸料	10,416	10,503
その他	974	2,441
営業外収益合計	31,266	29,973
営業外費用		
支払利息	4,246	3,053
固定資産賃貸費用	4,495	5,064
コミットメントフィー	-	2,493
その他	534	1,274
営業外費用合計	9,276	11,885
経常利益又は経常損失(△)	△182,361	152,161
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△182,361	152,161
法人税等	△52,740	51,850
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△129,621	100,311

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、一定の条件を満たす機械設備に関して、従来は出荷基準又は船積基準で収益を認識しておりましたが、客先での設置後の性能確認が完了した時点で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。なお、利益剰余金の当期首残高の増減はありません。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は1億7千7百万円減少し、売上原価は1億4千7百万円減少し、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ2千9百万円減少しております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期財務諸表への影響はありません。